ISO 9001
認証取得

shindaiwa

取扱説明書

チッパーシュレッダ

CSE50
CSE50-W
CSE50-DW4
CSE50/TS
CSE80
CSE80-DW4
CSE80/TS

⚠ 注 意
安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。

新ダイワ工業株式会社

はじめに

このたびは、新ダイワのチッパーシュレッダをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- この取扱説明書は、本機を安全に正しく使用していただくために作成しています。本機の取り扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。
  なお、搭載エンジンについては、別冊のエンジン取扱説明書をあわせてお読みください。

- 本機の取り扱いは、この取扱説明書及び別冊のエンジン取扱説明書の内容を理解し、安全な取り扱いができる人が行ってください。

- 本機を貸し出す時は、必ず取扱説明書を添付してください。

- 取扱説明書は、いつでもご覧いただけるように大切に保管してください。

■ 用途　：　樹木・野菜茎など、植物専用の破砕機です。

■ この取扱説明書では、注意事項のランクを下記のように区分しています。

⚠ 警告：取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。

⚠ 注意：取り扱いを誤ると、中程度の傷害や軽傷を負う可能性ある場合、および、物的損害が発生する可能性がある場合。

注意事項：安全のための具体的内容、および本機の保護と本機の性能を十分に発揮させるための注意。

- 注意事項に記載した内容も、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

目　次

		（頁）
１．	安全上の注意	１
２．	仕様	３
３．	各部の名称	４
４．	組立部品明細	５
５．	組立方法	７
６．	装備機能と操作	１０
７．	作業準備について	１２
８．	始業前点検	１３
９．	移動・設置	１３
１０．	運転・作業	１７
１１．	点検・整備	２０
１２．	長期保管	２２

1．安全上の注意

⚠ 警告：回転刃物に注意

- チッパーホッパーに木材を押し込む時、ガードより奥に手を入れないでください。
- 運転中は、排出口に手や足を近づけないでください。

⚠ 警告：巻込まれ注意

- シュレッダホッパーに剪定枝葉を投入する時、送りローラーに手を近づけないでください。
- 網手袋（軍手）など、引っかかりやすいものを着用しないでください。
- 運転中は、駆動ベルトに手や足を近づけないでください。

⚠ 警告：排気ガス中毒

- エンジンの排気ガス中には、有害な成分が含まれています。
  室内・トンネルなどの換気の悪い所では、運転しないでください。

⚠ 注意：火災

- 本気は、燃料としてガソリンを使用しています。
  燃料の点検や補給、燃料ストレーナーの清掃など、燃料を扱う時は必ずエンジンを停止し、絶対に火気を近づけないでください。
  また、エンジンが冷えてから行ってください。
- 燃料をこぼしたときは、必ずふき取ってください。

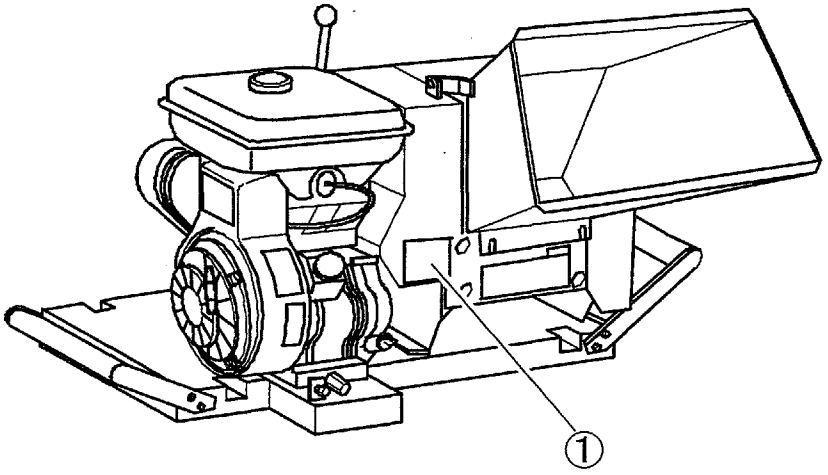
⚠ 注意：けが

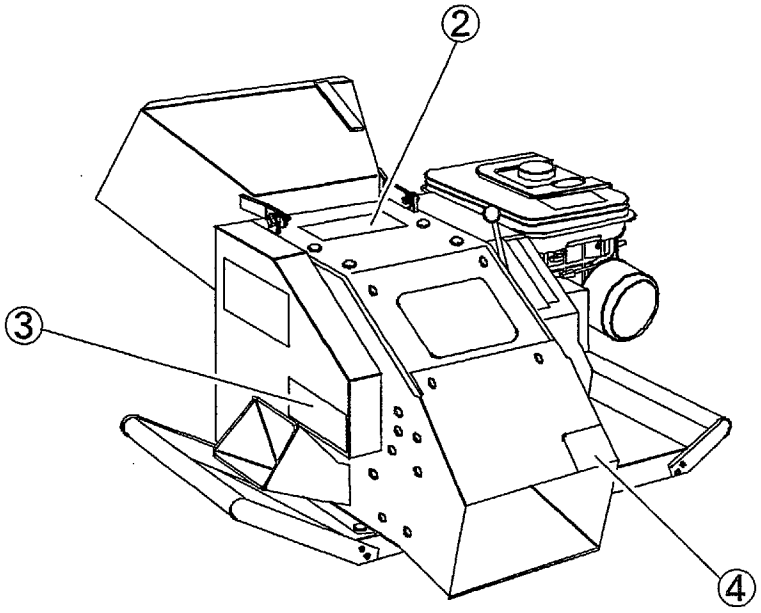
- ＣＳＥ５０－Ｗ、ＣＳＥ５０－ＤＷ４、ＣＳＥ８０－ＤＷ４は、ハンドルで吊り上げると、ハンドルが外れ落下することがあります。
  本機を吊り上げるときは、必ず吊り金具を使用してください。
  ＣＳＥ５０、ＣＳＥ８０、ＣＳＥ５０/ＴＳ、ＣＳＥ８０/ＴＳは、取っ手の四隅を使用して吊り上げてください。
- 本機が移動しないよう、水平で安定した場所に設置し、車輪には必ず車輪止めをしてください。
- 点検・準備・整備は、必ずエンジンを停止して行ってください。
- 作業中は、破砕片が飛散します。
  目を守るため、保護めがねを着用してください。また、作業者以外の人や動物を、作業領域に近づけないでください。
- 本機に乗って走行、及び作業をしないでください。
- 柔らかい路面・凸凹の路面での走行は、本機の姿勢が大きく変化したり、ハンドルが跳ね上げられたりしますので、注意して走行してください。

■警告ラベル貼付位置

警告ラベルが見えにくくなったり破損したときは、新しいラベルを指定場所に貼りかえてください。ラベルの注文は（　　）内の番号でご注文ください。
以下の警告ラベルは全機種共通です。

①ベルトの巻込まれ注意（品番：C095-009-A）
②送りローラーの巻込まれ注意（品番：C095-006-A）
③チッパーの回転刃に注意（品番：C095-015-A）
④排出口の回転刃に注意（品番：C095-005-A）



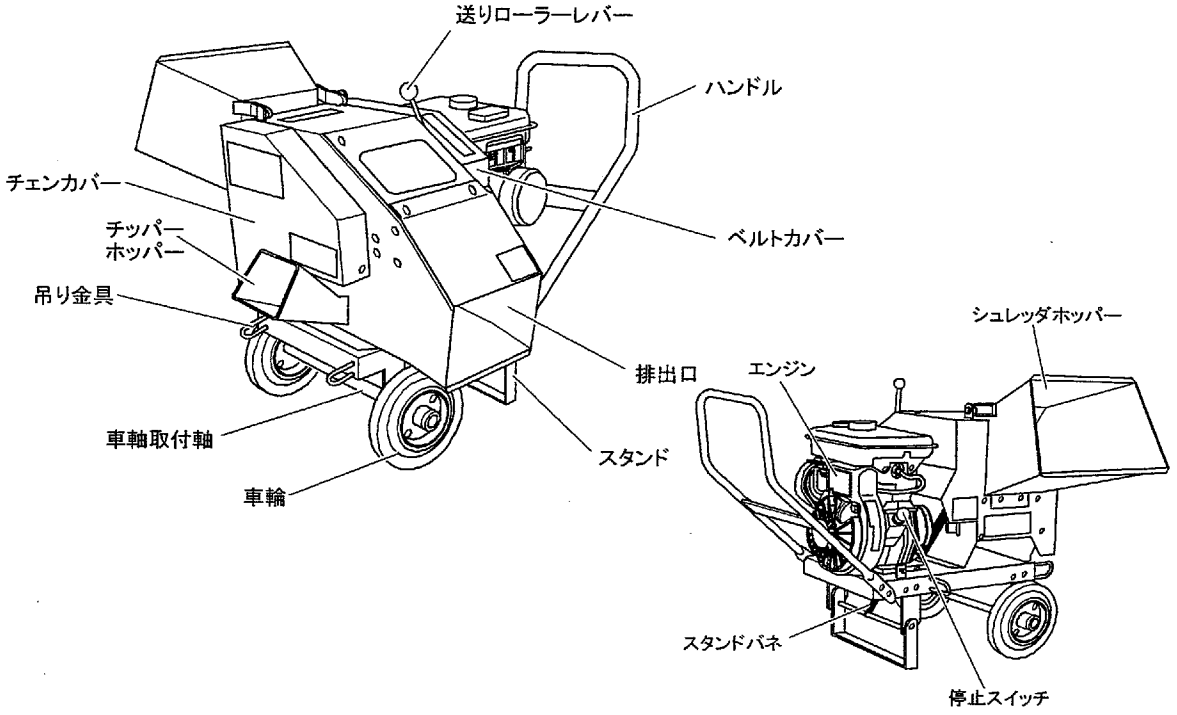


2. 仕様

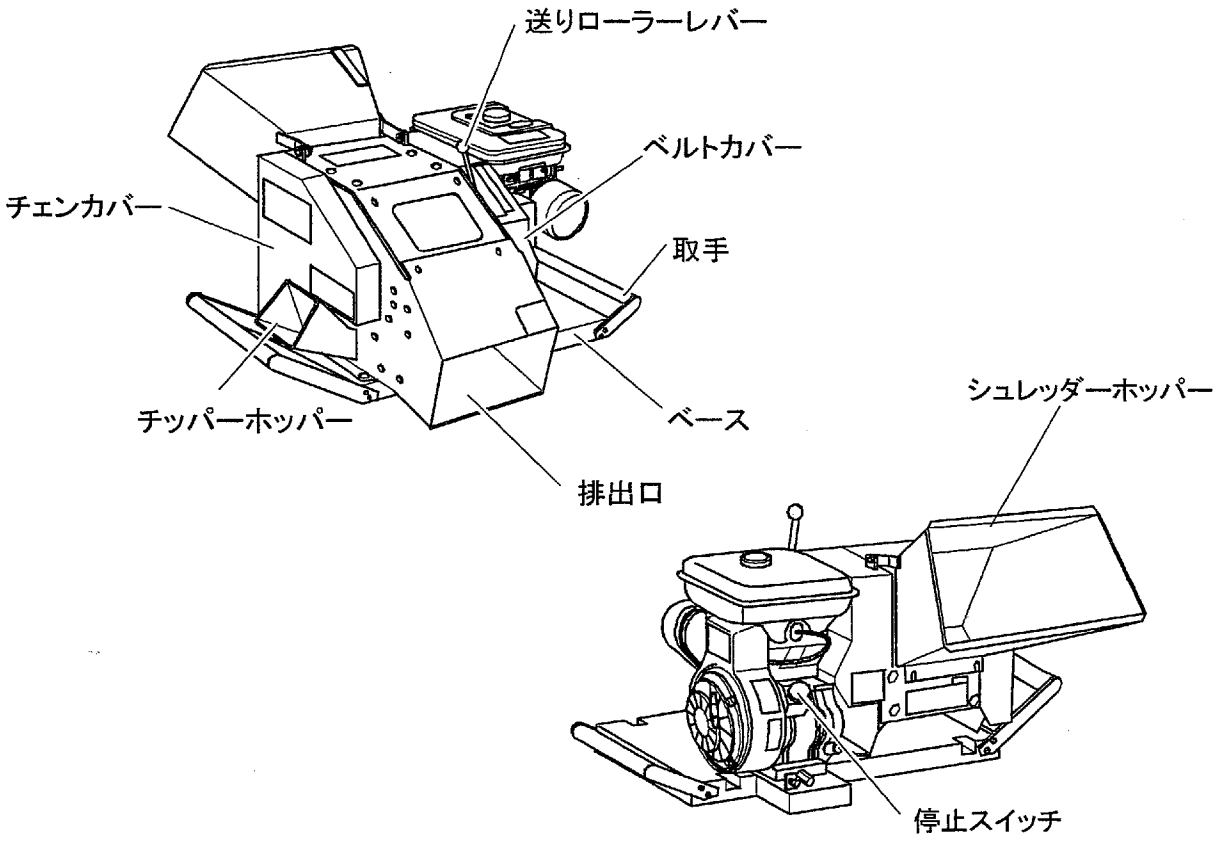
型式			CSE50	CSE50/TS	CSE50−W	CSE50-DW4	CSE80	CSE80/TS	CSE80-DW4
外形寸法	全長 mm		820		1035	1280	1010		1340
	全幅 mm		1000		1000	1000	1000		1000
	全高 mm		590		790	840	600		840
乾燥質量 kg			76	77	85	110	102	103	153
破砕装置	破砕方式		フリースイングハンマー ＆ チッパーカッター						
	主軸回転数 min^{-1}		2,600						
	処理能力 kg/h(m^3/h)		300～400 (1.0～1.5)				400～550 (1.5～2.0)		
	チッパー部	ナイフ数	2						
		最大処理径 mm	Max 45				Max 65		
	シュレッダ部	ハンマ数	22	28	22	22	32	42	32
		最大処理径 mm	Max 30				Max 40		
		供給方式	自動送りローラー						
走行装置	方式		—		手押し	自走	—		自走
	変速		—		—	前進一段	—		前進一段
	走行速度 km/h		—		—	Max 4.0	—		Max 4.0
	ブレーキ		—		—	内拡式	—		内拡式
	移動車輪 mm		—		φ250-40×2	AGφ350-50×2 φ250-40×2	—		AGφ350-50×2 φ250-40×2
エンジン	名称		空冷４サイクル立形ＯＨＶ式ガソリンエンジン						
	型式		ロビン ＥＨ１７−２Ｄ				ロビン ＥＨ２５−２Ｂ		
	シリンダ数−内径×行程 mm		1-67×49				1-75×57		
	総排気量ml		172				251		
	定格出力 KW(PS)/min^{-1}		2.9(4.0)／3,600				4.7(6.4)／1,800		
	最大出力 KW(PS)/min^{-1}		3.7(5.0)／3,600				5.9(8.0)／1,800		
	最大トルク N·m(Kgf·m)/min^{-1}		10.7(1.09)／2,600				33.1(3.38)／1,300		
	使用燃料		自動車用無鉛ガソリン						
	燃料タンク容量 L		約 3.6				約 6.0		
	燃料消費率 g/kW·h(g/PS·h)		310 (230)						
	使用潤滑油		純正オイル又は自動車用エンジンオイル SAE#20～#30 SCクラス以上 (寒冷時SAE10W-30)						
	潤滑油量 L		約 0.65				約 1.0		
	点火方式		無接点式マグネト点火						
	始動方式		リコイル式						
	減速方式		—				1/2カム軸		
	エアクリーナー方式		半湿式						
	乾燥質量 kg		16				24		
	セット回転数 min^{-1}	高速	3,800±100				1,900±50		
		低速	1,400±100				700±50		

3．各部の名称

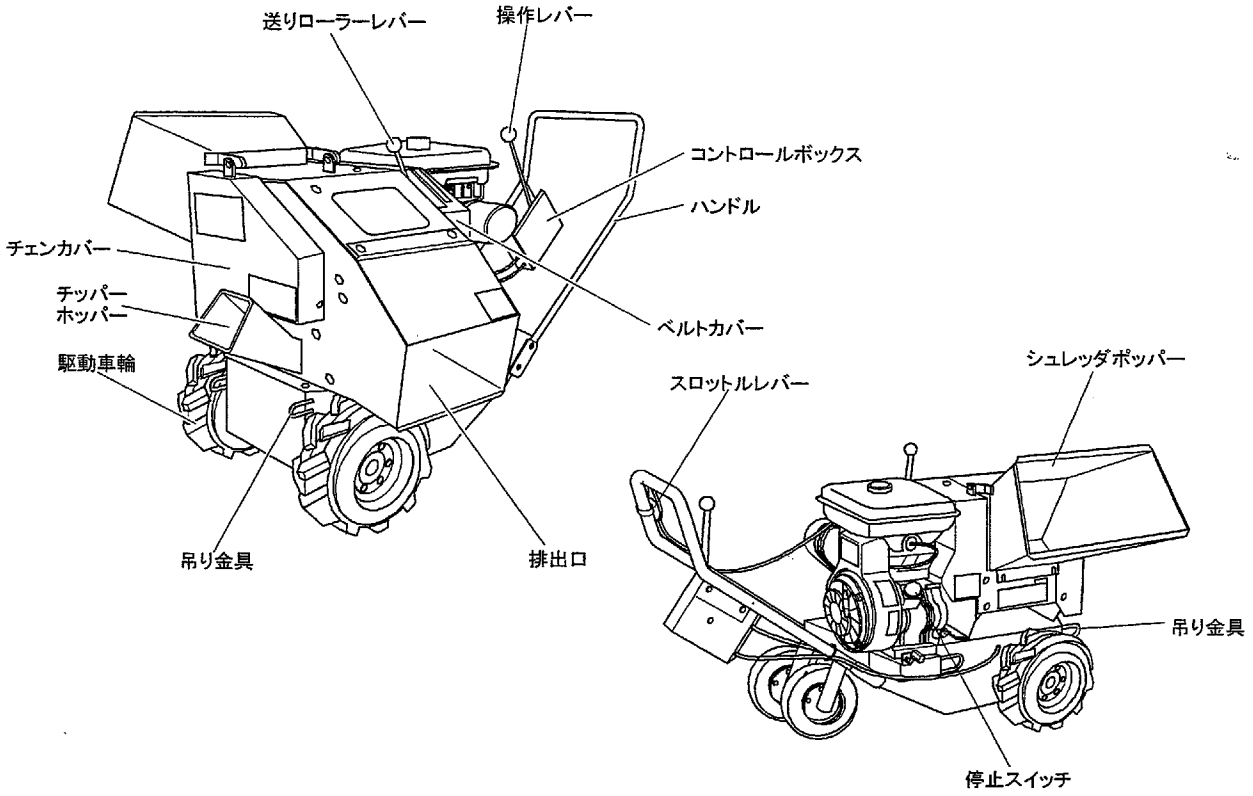
CSE50-W



CSE50・CSE80・CSE50/TS・CSE80/TS



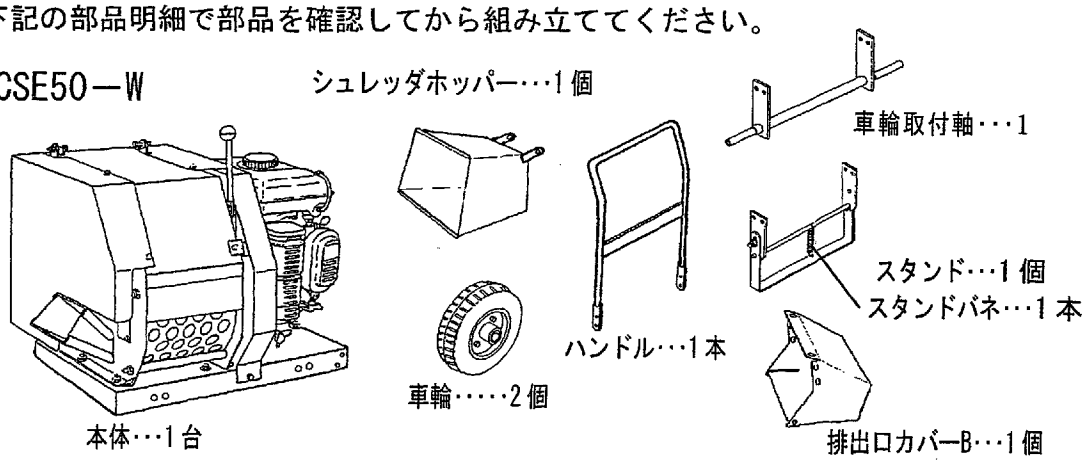
CSE50-DW4・CSE80-DW4



4．組立部品明細

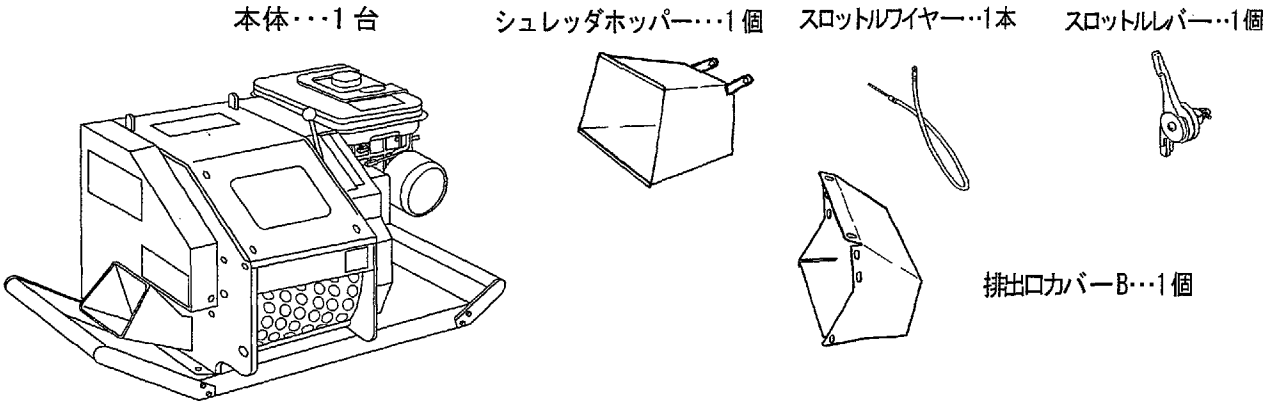
組立前に下記の部品明細で部品を確認してから組み立ててください。

4－1.　CSE50－W



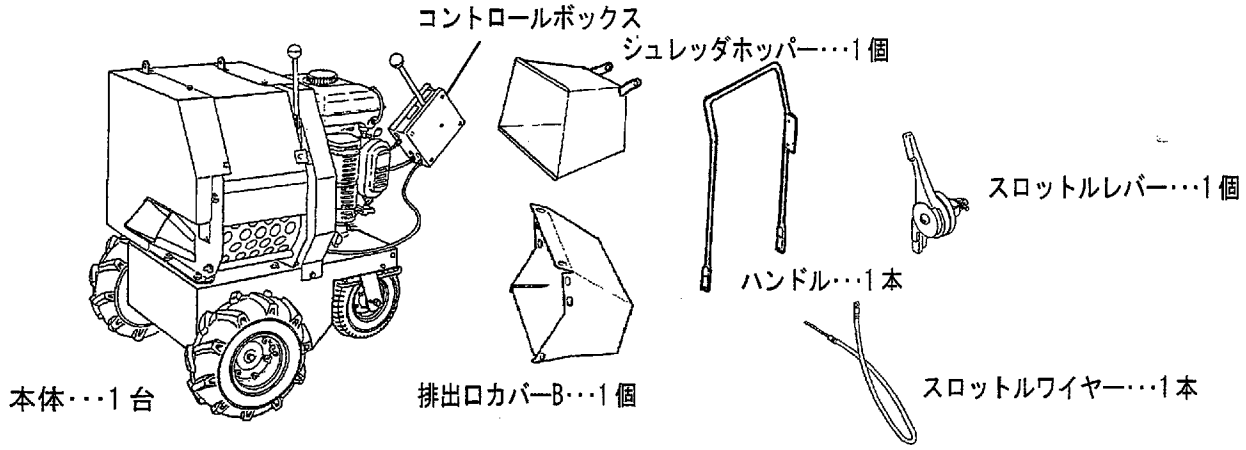
部　品　名		部　品　取　付　用　部　品
本　　体	1	
ｼｭﾚｯﾀﾞﾎｯﾊﾟｰ	1	ﾎﾞﾙﾄ M8×35(2 本)･ｶﾗｰ(2 個)・U ﾅｯﾄ(2 個) 蝶ﾅｯﾄ(2 個)・座金 M10 用 (2 枚)・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾜｯｼｬｰM10 用 (2 枚)　]本体に装着
排出口カバーB	1	ﾎﾞﾙﾄM6×15 (4 本)・ﾎﾞﾙﾄM6×20 (4 本)　本体に装着
ハンドル	1	ﾎﾞﾙﾄ M10×25(4 本)・U ﾅｯﾄ M10(4 個)
スタンド	1	ﾎﾞﾙﾄ M10×20(4 本)・U ﾅｯﾄ M10(4 個)・ｽﾀﾝﾄﾞﾊﾞﾈ(1 本)ｽﾀﾝﾄﾞに装着
車　　輪	2	ﾎﾞﾙﾄ M8×15(2 本)・座金 M8 用(2 枚)・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾜｯｼｬｰM8 用(2 枚)
車輪取付軸	1	ﾎﾞﾙﾄ M10×20(4 本)・U ﾅｯﾄ M10(4 個)

4－2.　CSE50･CSE80 CSE50/TS・CSE80/TS



部　品　名		部　品　取　付　用　部　品
本　　体	1	
ｼｭﾚｯﾀﾞﾎｯﾊﾟｰ	1	ﾎﾞﾙﾄ M8×35(2 本)･ｶﾗｰ(2 個)･U ﾅｯﾄ(2 個) 蝶ﾅｯﾄ(2 個)･座金 M10 用(2 枚)･ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾜｯｼｬｰM10 用(2 枚)　]本体に装着
排出口カバーB	1	ﾎﾞﾙﾄM6×15 (4 本)・ﾎﾞﾙﾄM6×20 (4 本)　本体に装着
スロットルレバー	1	ｽﾛｯﾄﾙﾜｲﾔｰ (1 本)・ｲﾝｼｭﾛｯｸﾀｲ (2 本)

4－3. CSE50－DW4・CSE80－DW4

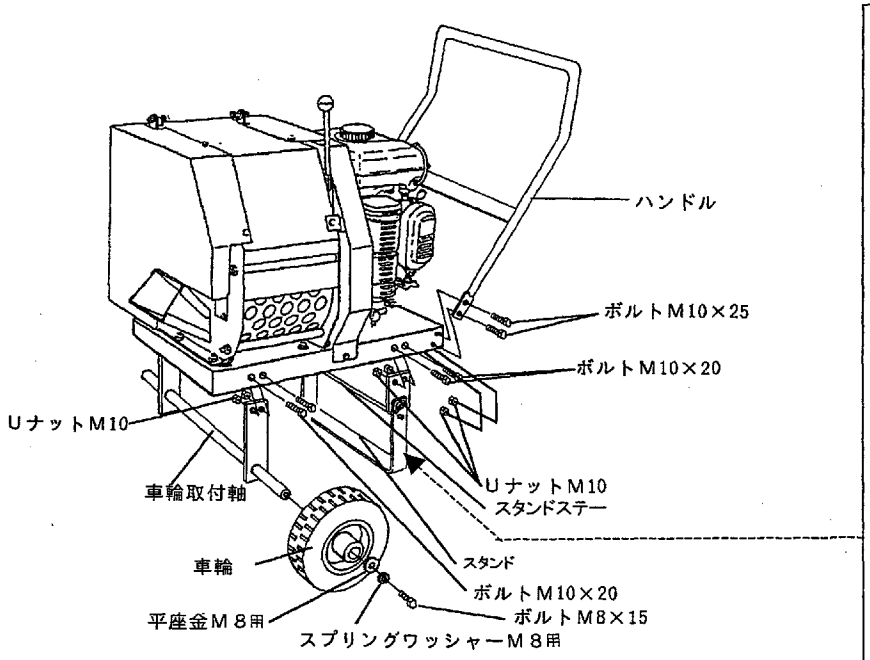


部　品　名		部　品　取　付　用　部　品
本　　体	1	
ｼｭﾚｯﾀﾞﾎｯﾊﾟｰ	1	ﾎﾞﾙﾄM8×35(2本)・ｶﾗｰ(2個)・Uﾅｯﾄ(2個) 蝶ﾅｯﾄ（2個)・座金M10用（2枚)・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾜｯｼｬｰM10用（2枚）　]本体に装着
排出口カバーB	1	ﾎﾞﾙﾄM6×15（4本）・ﾎﾞﾙﾄM6×20（4本）本体に装着
ハ ン ド ル	1	ﾎﾞﾙﾄM10×25（4本)・Uﾅｯﾄ M10（4個）
ｺﾝﾄﾛｰﾙﾎﾞｯｸｽ	1	ﾎﾞﾙﾄM8×15(2本)・座金M8用(2枚)・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾜｯｼｬｰM8用(2枚)　ｺﾝﾄﾛｰﾙﾎﾞｯｸｽに装着
スロットルレバー	1	ｽﾛｯﾄﾙﾜｲﾔｰ（1本)・ｲﾝｼｭﾛｯｸﾀｲ（6本）

5．組立方法

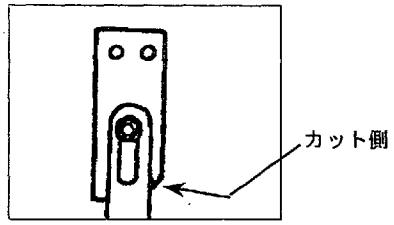
5－1．CSE50－W の組立

① 本体に車輪取付軸と車輪、スタンド、ハンドルを取り付けます。
※ボルト・ナット類は確実に締め付けてください。

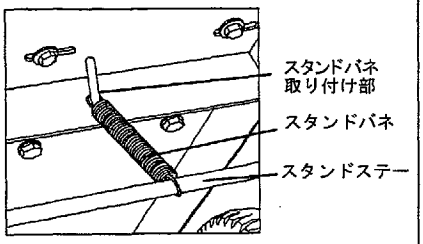


スタンド取付要領

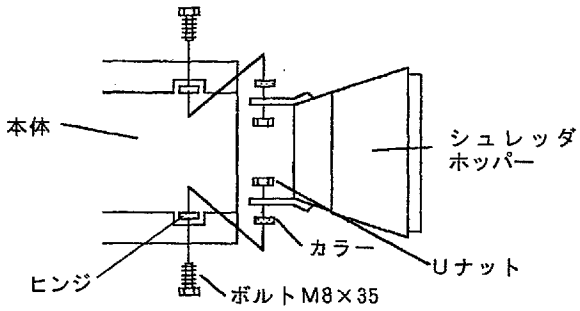
■スタンド取り付け方向
下図のカット側をハンドル側に向けて組付けてください。

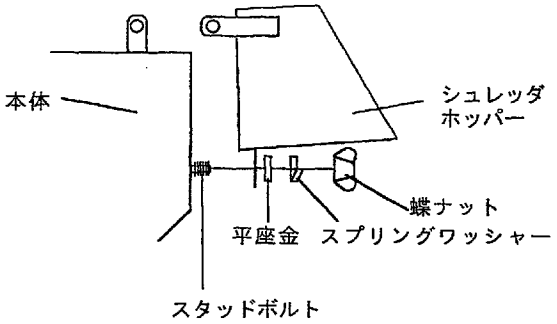


■スタンドバネ掛け位置
次に、スタンドバネをベース裏面のバネ取り付け部に掛けてください。

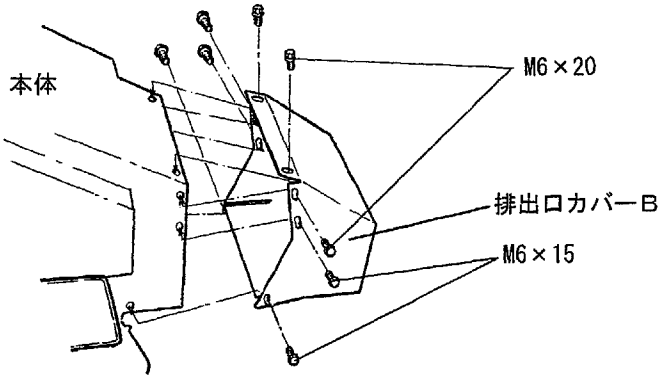


②本体にシュレッダホッパーを取り付けます。



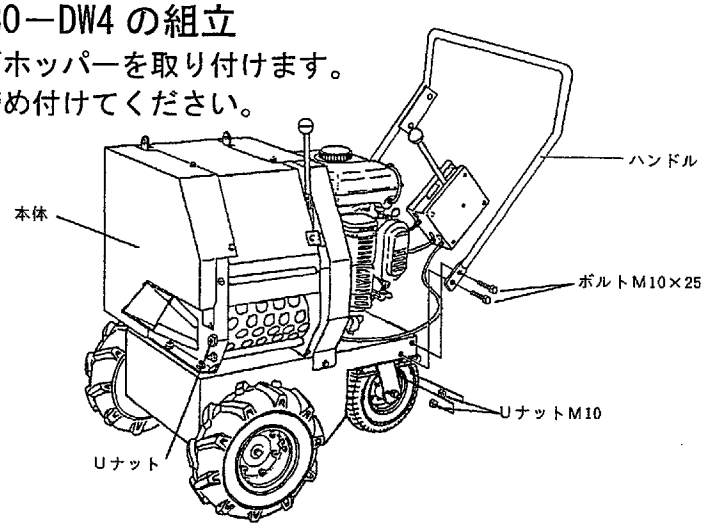


② 本体に排出口カバーＢを取り付けます。

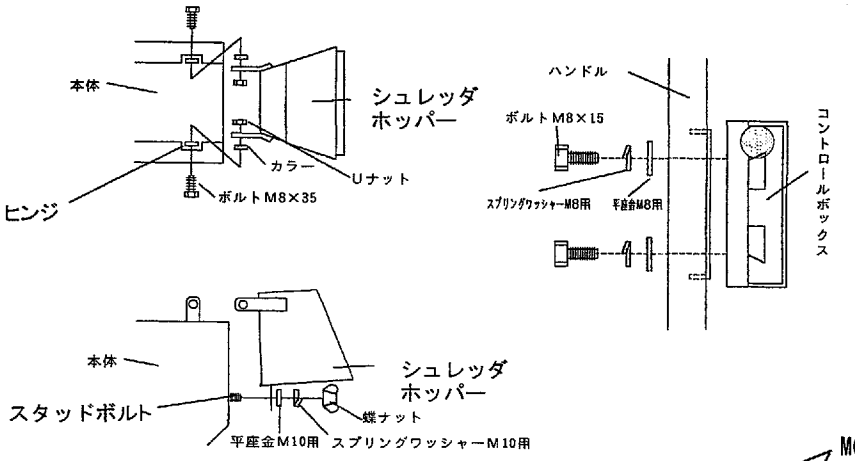


5－2. CSE50－DW4・CSE80－DW4の組立

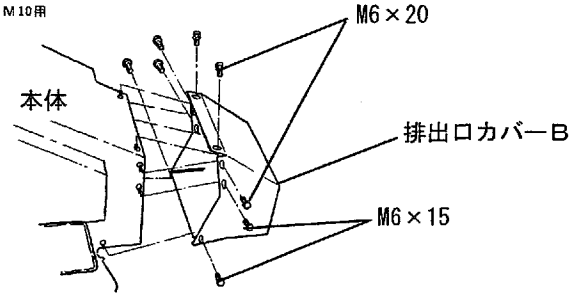
①本体にハンドルとシュレッダホッパーを取り付けます。
※ボルト・ナット類は確実に締め付けてください。



②本体にシュレッダホッパーとハンドルにコントロールボックスを取り付けます。

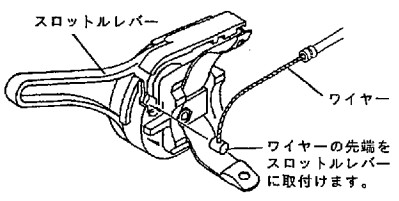


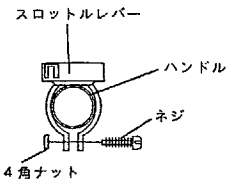
③本体に排出口カバーBを取り付けます。



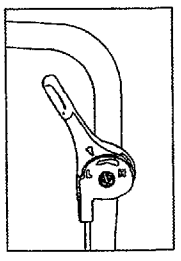
③ハンドルにスロットルレバーを取り付け、スロットルワイヤーをつなげます。

〈スロットルレバーを取り付け〉

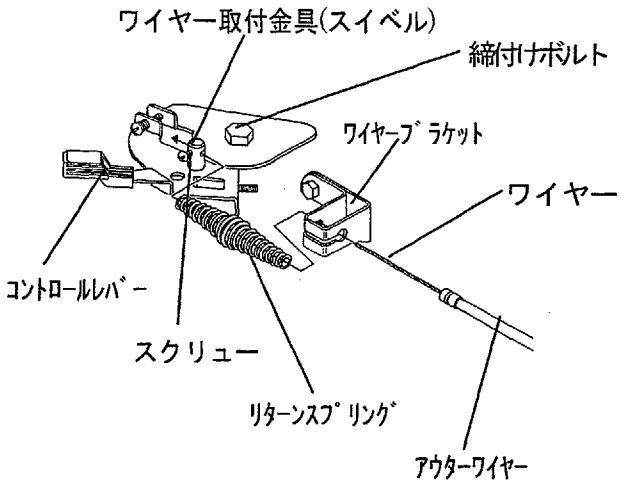




（レバー取付位置）



〈スロットルワイヤーの取り付け〉



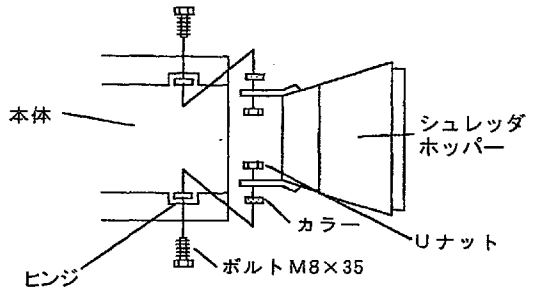
・ワイヤーの先端にリターンスプリングを通しワイヤー取付金具の穴にワイヤーを通しスクリューを締めて下さい。

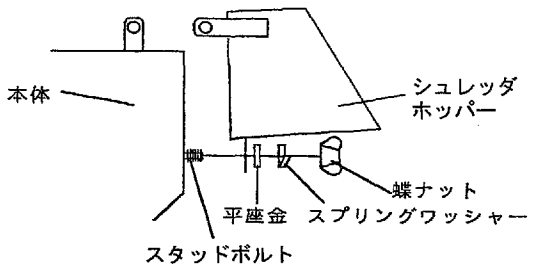
・アウターワイヤーをワイヤーブラケットに差し込み、プライヤー等でワイヤーブラケットを上下に締めアウターワイヤーが外れないようにしてください。

ワイヤー取付け後スロットル締付けボルトを少し緩めて、ハンドルに取り付けたスロットルレバーがスムーズに動くことを確認してください。

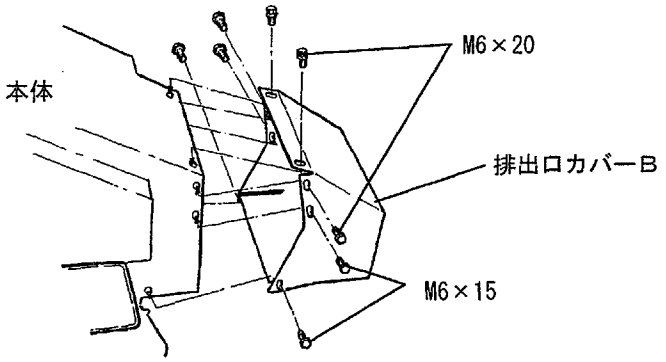
5－3. CSE50・CSE80 CSE50/TS・CSE80/TS の組立

① 本体にシュレッダホッパーを取り付けます。
※ボルト・ナット類は確実に締め付けてください。





② 本体に排出口カバーBを取り付けます。

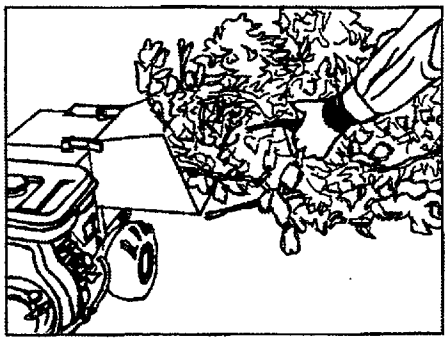


③ 附属のスロットルレバーは運搬車などに搭載した場合、必要に応じて取り付けてください。
取付方法は、「5－2. ＣＳＥ５０－ＤＷ４・ＣＳＥ８０－ＤＷ４の組立…③ スロットルレバーの取り付け」を参照してください。

６．装備機能と操作

6−1　シュレッダ・ホッパー

剪定枝葉用の投入口です。投入した枝葉は直接シュレッダに入り、破砕されます。

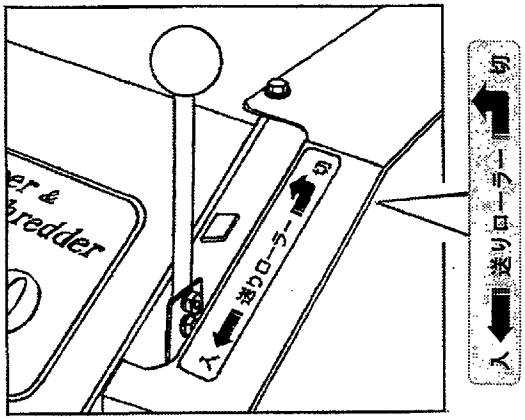


6−2　送りローラー

投入した枝葉をシュレッダ内部に送り込む送りローラーを装備していますので、枝葉を強く押し込む必要がなく、より安全に破砕作業が行えます。
次の操作により、送りローラー運転の切替えができます。

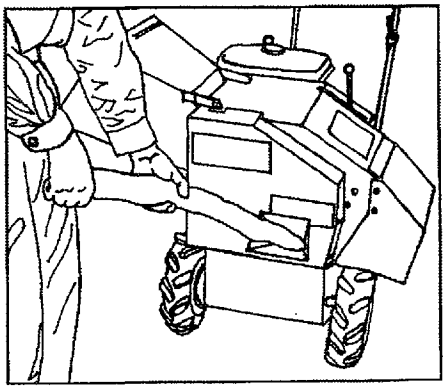
≪送りローラーの運転切替え≫
送りローラーレバーを『入』の位置にすると、送りローラーが回転します。『切』の位置にすると、送りローラーの回転が停止します。

破砕作業の休止中や本機の移動中、またはエンジンに過負荷がかかったときは、『切』にして送りローラーの回転を停止してください。



6−3　チッパー・ホッパー

太枝・中径木用の投入口です。投入した枝木は、チッパ部で薄く削られたあとシュレッダ部に入り、破砕されます。

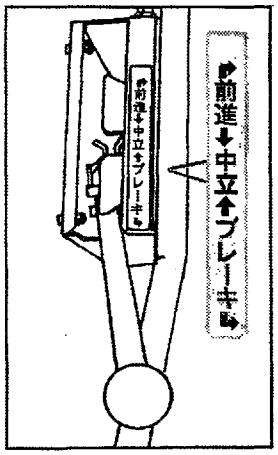


6−4　走行車輪　【ＣＳＥ５０－ＤＷ４・ＣＳＥ８０－ＤＷ４】

エンジン駆動による走行車輪を装備していますので、本機の移動が楽に行えます。
次の操作により、走行運転の切替えと走行速度の調整ができます。

≪走行運転の切替え≫

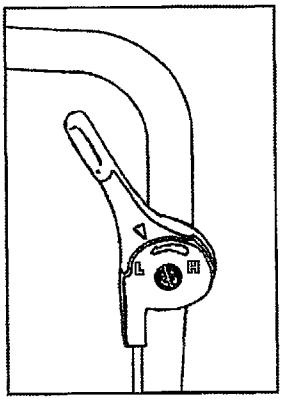
操作レバーを『前進』の位置にすると、本機が走行します。『中立』の位置にすると、本機の走行は停止します。このとき、車輪はフリーの状態になっていますので、手で押して本機を移動するときは、『中立』の位置にしてください。



また、『ブレーキ』の位置にすると、車輪にブレーキがかかります。破砕作業を行うときは、本機が移動しないよう『ブレーキ』の位置にしてください。

≪走行速度の調整方法≫

スロットルレバーを『Ｈ』の方向に動かすと、走行速度が速くなります。逆に、『Ｌ』の方向に動かすと、走行速度は遅くなります。



7．作業準備について

7−1　作業に適した服装と保護具

⚠ **警告**：巻込まれ注意

- 編み手袋（軍手）など、引っかかりやすいものを着用しないでください。
- ダブダブの服、装飾品、首に掛けたタオルなど、本機の部品及び投入枝葉に引っかかる可能性のあるものは、着用しないでください。

⚠ **注意**：けが

- 目を守るため保護めがねを着用してください。
- 安全のため、ヘルメットと皮手袋を着用してください。

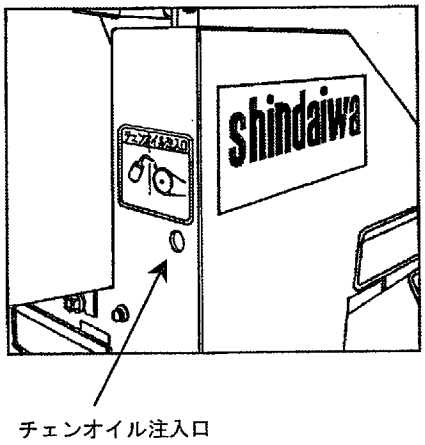
7−2　　運転準備

⚠ **注意**：火災

- 給油中は、絶対に火気を近づけないでください。
- 燃料をこぼしたときは、必ずふきとってください。

エンジンに関しては別冊のエンジン取扱説明書をよく読んでください。

① エンジンオイルを給油、または補充してください。
② 燃料タンクに自動車用無鉛ガソリンを給油してください。
③ 送りローラー駆動用チェンにオイルを数滴注油してください。



チェンオイル注入口

8．始業前点検

⚠ **注意**：火災・やけど・けが

- 点検時は必ずエンジンを停止し、絶対に火気を近づけないでください。また、エンジンが冷えてから行ってください。

エンジンに関しては別冊のエンジン取扱説明書をよく読んでください。

①各部品が確実に取り付いているか（脱落、ネジの緩みなど）、及び損傷、変形がないかを点検してください。
②各操作部、及び駆動部が正常に作動するかを点検してください。

9．移動・設置

9－1　移動

【ＣＳＥ５０－ＤＷ４・ＣＳＥ８０－ＤＷ４（自走タイプ）について】
エンジン駆動による走行車輪を装備していますので、本機の移動が楽に行えます。

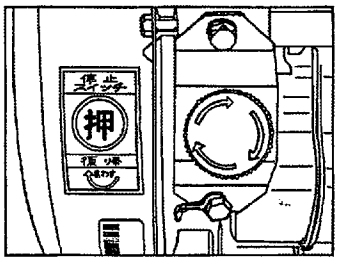
⚠ **注意**：けが

- 一般道路の走行はできません。
- 本機に乗って走行しないでください。
- 柔らかい路面・凸凹の路面での走行は、本機の姿勢が大きく変化したり、ハンドルが跳ね上げられたりしますので、注意して走行してください。
- 坂道で止めた場合は、操作レバーを、『ブレーキ』の位置にしてください。
  また、左右の車輪に車輪止めをしてください。
- 危険を感じた場合は、すぐに走行を中止してください。
- スロットルレバーは急激に操作しないでください

（１）エンジンの始動
エンジンに関しては別冊のエンジン取扱説明書をよく読んでください。

①操作レバーを『ブレーキ』の位置にしてください。
②送りローラーレバーを『切』にしてください。
③燃料コックを開いてください。

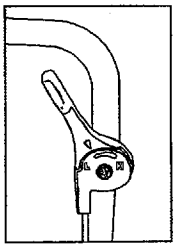
④停止スイッチを「復帰側」にまわしてください。
⑤ハンドル部のスロットルレバーを中速（中間位置）にしてく ださい。
⑥チョークレバーを全閉の位置にしてください。エンジンが暖まっているときはチョークレバーを開の位置にしてください。
⑦スタータグリップを圧縮位置まで軽く引き、この位置から勢いよく引っ張ってください。
⑧エンジンがかかったら、チョークレバーを徐々に開き、最後は全開にしてください。
⑨スロットルレバーを低速（L）側にして、５～１０分程度暖機運転を行ってください。
⑩スロットルレバーを低速（L）の状態にして、操作レバーを『前進』にしてください。



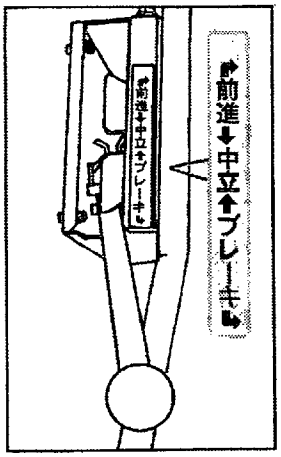
■ 注意事項

1）ロットルレバーを高速（H）や中速域で操作レバーを『前進』にすると、急激に走行し大変危険です。操作レバーを『前進』にする場合は必ず低速（L）の状態にしてください。

（2）走行速度の調整
① 走行するスピードに合わせてスロットルレバーを調整してください。
② スロットルレバーを『H』の方向に動かすと、走行速度が速くなります。逆に、『L』の方向に動かすと、走行速度は遅くなります。



（3）走行運転の切替え
①操作レバーを『前進』の位置にすると、本機が走行します。
②『中立』の位置にすると、本機の走行は停止します。このとき、車輪はフリーの状態になっていますので、手で押して本機を移動するときは、『中立』の位置にしてください。また、『ブレーキ』の位置にすると、車輪にブレーキがかかります。破砕作業を行うときは、本機が移動しないよう『ブレーキ』の位置にしてください。



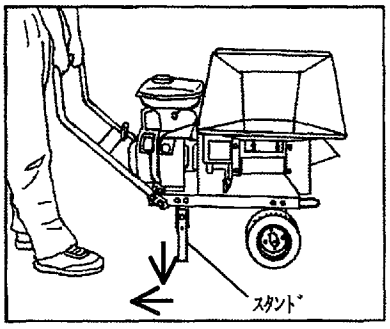
【ＣＳＥ５０－Ｗ（手押しタイプ）について】

> ⚠ **注意**：けが
>
> - 柔らかい路面・凸凹の路面での走行は、本機の姿勢が大きく変化したり、ハンドルが跳ね上げられたりしますので、注意して走行してください。
> - 坂道で止めた場合は、左右の車輪に車輪止めをしてください。

（１）移動方法

① ハンドルを持ち、スタンドを踏み下げて手前に折り曲げてください。

② ハンドルで支えながら移動してください。



9－2　車両への搭載

> ⚠ **注意**：けが、やけど
>
> - エンジンが十分冷えてから行ってください。
> - 本機は重量物です。無理な姿勢で持ち上げたり、移動したりしないでください。また、十分な人数でおこなってください。
> - ＣＳＥ５０－Ｗ、ＣＳＥ５０－ＤＷ４、ＣＳＥ８０－ＤＷ４を、吊り上げて積み降ろしする場合は、必ず吊り金具を使用して吊り上げてください。ハンドルで吊り上げると、ハンドルが外れ落下することがあります。
>
> ＣＳＥ５０、ＣＳＥ８０、ＣＳＥ５０/ＴＳ、ＣＳＥ８０/ＴＳは取っ手の四隅を使用して吊り上げてください。
>
> - 車載後は、必ず本機を車両に固定してください。
> - 移動中は、本機を運転しないでください。
>
> 〈自走で積み降ろしする場合（ＣＳＥ５０－ＤＷ４・ＣＳＥ８０－ＤＷ４）〉
>
> - 平坦地で誘導者の指示のもとに行ってください。
> - 十分な強度と長さがあり、滑り止めのついたアユミ板を使用してください。
> - アユミ板の傾斜角度は、１５度以下にしてください。

9－3　設置

⚠ **警告**：排気ガス中毒

- 室内・トンネルなどの換気の悪い所には，設置しないでください。

⚠ **注意**：けが・火災

- 本機が移動しないよう、水平で安定した場所に設置し、車輪には必ず車輪止めをしてください。また、自走タイプ（ＣＳＥ５０－ＤＷ４・ＣＳＥ８０－ＤＷ４）は、必ずブレーキをかけてください。
- 作業者以外の人や動物を、作業領域に近づけないでください。
- エンジンの排気口、シュレッダの排出口側に、障害物がないことを確認してください。
- 搭載タイプ（ＣＳＥ５０、ＣＳＥ８０、ＣＳＥ５０/ＴＳ、ＣＳＥ８０/ＴＳ）は、本機と車両を確実に固定してください。

① 作業領域に障害物がなく、水平で安定した場所に設置してください。

② 搭載タイプ（ＣＳＥ５０、ＣＳＥ８０、ＣＳＥ５０/ＴＳ、ＣＳＥ８０/ＴＳ）は、作業に適正な高さで、積載耐荷重２００ｋｇ以上の強固で安定した台、または運搬車などに搭載してください。　また、搭載後本機を確実に固定してください。

≪別売品≫

※搭載タイプ（ＣＳＥ５０、ＣＳＥ８０、ＣＳＥ５０/ＴＳ、ＣＳＥ８０/ＴＳ）専用のクローラー運搬車（ＳＣＲ２５０）および「取付け用防振ゴムセット」を取り揃えております。
簡単・確実に搭載セットでき、クローラー自走のチッパーシュレッダとして、傾斜地、悪路などの移動作業が安全、かつ効率的に行えます。
お買い求めの販売店か弊社営業所にお申し付けください。

１０．運転・作業

10−1　始動

> ⚠ **警告**：巻込まれ注意
>
> ● 駆動ベルトに手や足を近づけないでください。

エンジンに関しては別冊のエンジン取扱説明書をよく読んでください。

① ＣＳＥ５０－ＤＷ４・ＣＳＥ８０－ＤＷ４は走行レバーを『ブレーキ』の位置にしてください。
② 送りローラーレバーを『切』にしてください。
③ 燃料コックを開いてください。
④ 停止スイッチを「復帰側」にまわしてください。
⑤ エンジンに装備されているスロットルレバーを始動位置にしてください。
ＣＳＥ５０－ＤＷ４・ＣＳＥ８０－ＤＷ４はハンドル部のスロットルレバーを中速（中間位置）にしてください。
⑥ チョークレバーを全閉の位置にしてください。エンジンが暖まっているときはチョークレバーを開の位置にしてください。
⑦ スタータグリップを圧縮位置まで軽く引き、この位置から勢いよく引っ張ってください。
⑧ エンジンが始動したら、チョークレバーを徐々に開き、最後は全開にしてください。
⑨ スロットルレバーを低速（Ｌ）側にして、５～１０分程度暖機運転を行ってください。

■異常音、異常振動がないか確認してください。

10－2　作業

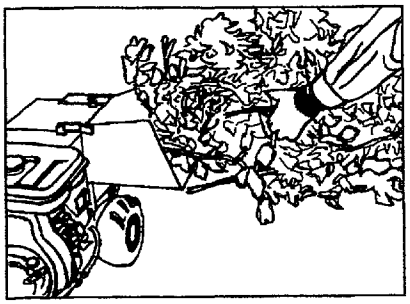
> ⚠ **警告**：巻込まれ注意
>
> - 運転中は、送りローラーに手を近づけないでください。
> - 編み手袋（軍手）など、引っかかりやすいものを着用しないでください。

> ⚠ **警告**：回転刃物に注意
>
> - 運転中は、排出口に手や足を近づけないでください。
> - 木材を押し込む時、チッパーホッパーのガードより奥に手を入れないでください。

> ⚠ **注意**：けが
>
> - 目を守るため保護めがねを着用してください。
> - 作業者以外の人を、作業領域に近づけないでください。

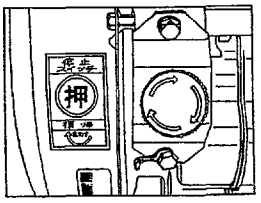
① スロットルレバーを高速（H）側にしてください。
② 送りローラーレバーを『入』の位置にしてください。
③ 枝葉のある処理材は、シュレッダホッパーに投入して破砕してください。

処理可能最大径は、
CSE50, CSE50-W, CSE50-DW4, CSE50/TS　：φ３０mm迄
CSE80, CSE80-DW4, CSE80/TS　：φ４０mm迄
です。

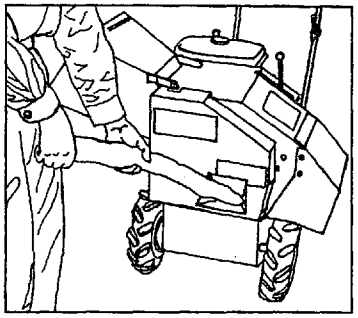


■注意事項

1）　投入時に手を巻込まれないために、シュレッダホッパー内には手を入れないでください。
2）　植物の破砕以外の用途に使用しないでください。
3）　エンジンに過負荷がかかったときは、送りローラーレバーを『切』の位置にして送りローラーの回転を停止してください。
4）　危険な場合は、送りローラーレバーを『切』にするか、または、停止スイッチを押してエンジンを停止してください。

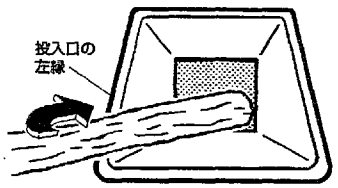


④ 太枝、中径木は、チッパーホッパー（サイドカッター）に押し込んで破砕してください。
処理可能最大径は、
CSE50, CSE50-W, CSE50/TS ：φ４５㎜迄
CSE50-DW4, CSE80, CSE80/TS, CSE80-DW4 ：φ６５ ㎜ 迄
です。



■注意事項

1） 入口（チッパーホッパー）の左縁に処理材を押し当てながら、斜めに押し込んでください。
2） 木材の破砕以外の用途に使用しないでください。



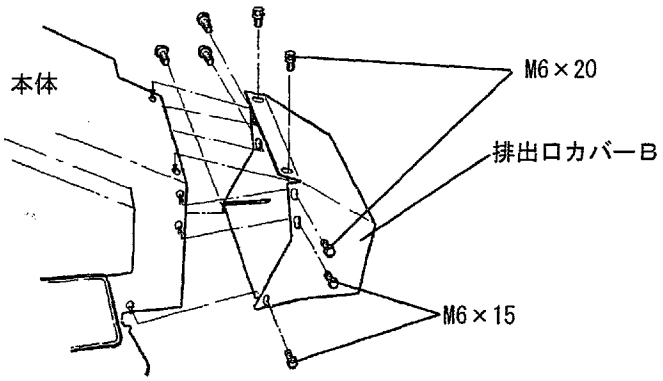
10－3 停止

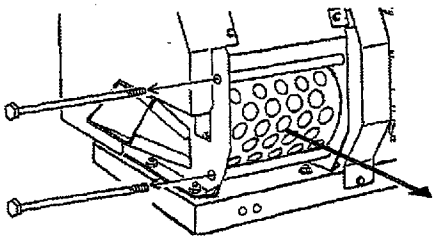
① 送りローラーレバーを「切」の位置にしてください。
② スロットルレバーを低速（Ｌ）側にして、３分間程度冷機運転を行ってください。
③ 停止スイッチを押して、エンジンを停止してください。
④ エンジンの燃料コックを閉じてください。

⚠ **注意：やけど**

● 本機が十分冷えてから行ってください。

■ 作業終了後は、フリーハンマー部とチッパーカッター部の清掃をしてください。
その際、排出口カバーB とスクリーンを外して行ってください。





スクリーンを外す。

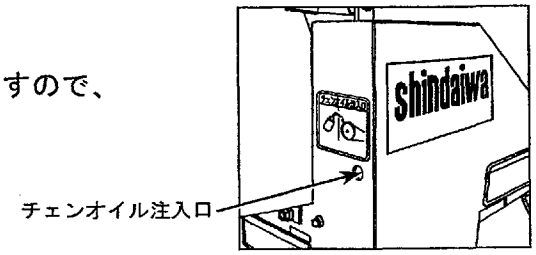
１１．点検・整備

> ⚠ **注意**：火災・やけど・けが
>
> - 必ずエンジンを停止してください。
> - 絶対に火気を近づけないでください。
> - エンジンの停止直後は、エンジンやマフラーが高温になっていますので、冷えてから行ってください。

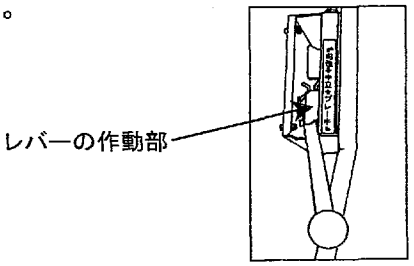
エンジンに関しては別冊のエンジン取扱説明書をよく読んでください。

11−1　注油

（1）本機のチェンカバー側に、注油穴がありますので、
ご使用前に必ず注油してください。

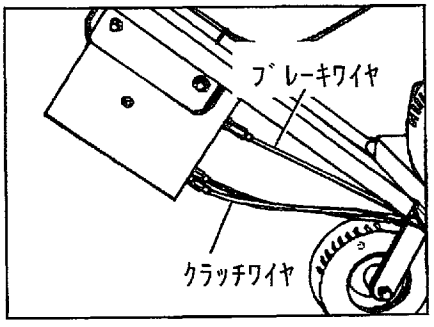


（2）ＣＳＥ５０−ＤＷ４、ＣＳＥ８０−ＤＷ４は月に一度、
コントロールボックスの作動部に注油してください。



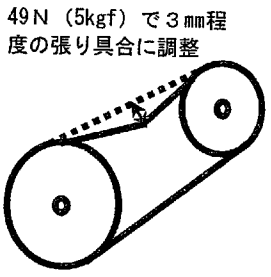
11−2　ワイヤーの点検　（ＣＳＥ５０−ＤＷ４）
（ＣＳＥ８０−ＤＷ４）

（1）　クラッチ、ブレーキの利きが悪くなった
と感じたら、コントロールボックス側の
ワイヤー調整ねじで調整してください。



（2）　エンジンのスロットルがいっぱいに引ききれていない場合は、エンジンのワイヤー取付部で調整してください。

11－3　Ｖベルトの点検



（１）　主軸側のベルト

Ｖベルトの張りがゆるくなりましたら、備え付けのベルトテンションボルトで調整してください。

①　エンジン固定ナットを緩めてください。

②　ベルトテンションボルトにてエンジンを押してＶベルトを緊張してください。

③　エンジン固定ナットを締め付けてください。

Ｖベルトの調整終了後、ベルトテンションボルトを５㎜位もどしてダブルナットを締め付けてください。

■注意事項

１）Ｖベルトがプーリー軸に対し直角になるようにしてください。

（２）　送りローラー側のベルト

テンションローラーで自動調整されています。

（３）　Ｖベルトに亀裂や磨耗等が発生しましたら取り替えてください。

≪Ｖベルト規格≫

■CSE50，CSE50-W，CSE50/TS，CSE80，CSE80/TS

送りローラー用：Ａ－３０（ミツボシ・レッド）

主軸用　　：Ｂ－２７

■CSE50-DW4

		CSE80-DW4
送りローラー用	Ａ－３０（ミツボシ・レッド）	Ａ－３０（ミツボシ・レッド）
主軸用	Ｂ－２７（ミツボシ・レッド）	Ｂ－２７（ミツボシ・レッド）
走行用	Ａ－３１（ミツボシ・レッド）	Ａ－３６（ミツボシ・レッド）

（４）　Ｖベルトの交換および緊張方法……主軸用

①　エンジン固定ナットを緩めてください。

②　Ｖベルトの交換を行った後に、ベルトテンションボルトにてエンジンを押してＶベルトを緊張してください。

③　エンジン固定ナットを締め付けてください。

Ｖベルトの交換終了後、ベルトテンションボルトを５㎜位もどしてダブルナットを締め付けてください。

■注意事項

1） Ｖベルトがプーリー軸に対し直角になるようにしてください。

11－4　チェンの点検

（1） 送りローラー用チェンと走行用チェン（CSE50-DW4、CSE80-DW4）を点検し、亀裂や伸びが無いか点検してください。

（2） チェンの交換は、お求めの販売店か弊社営業所に申しつけてください。

①送りローラー用：№３５－７１リンク＋ジョイントリンク
CSE50, CSE50-W, CSE50/TS, CSE80, CSE80/TS 共通

②走行用　　：№４０－５７リンク＋ジョイントリンク
CSE50-DW4, CSE80-DW4 用

１２．長期保管

⚠ **注意**：火災・やけど・けが

- 整備を行うときは、必ずエンジンを停止してください。
- 整備を行うときは、絶対に火気を近づけないでください。
- エンジンの停止直後は、エンジンやマフラーが高温になっていますので、冷えてから行ってください。

エンジンに関しては別冊のエンジン取扱説明書をよく読んでください。

整備後の長期保管には、次の処置を行ってください。

（1）エンジンの燃料タンクおよびキャブレター内の燃料を完全に抜き取ってください。

（2）ハンマー部、カッター部をきれいに清掃し、防錆油等を塗布してください。

（3）エンジンの固定ナット（４箇所）を緩め、エンジンを移動させてＶベルトを緩めてください。

（4）チェン、コントロールボックス等の稼動部に注油してください。
（「１１－１　注油」を参照）

（5）保管は風通しのよい、湿気の少ない場所へ防塵カバーを掛けて保管してください。

新ダイワ工業株式会社

本社	〒731-3167	広島市安佐南区大塚西6丁目2-11	TEL	082-849-2001
札幌営業所	〒065-0033	札幌市東区北三十三条東17丁目4-17	TEL	011-783-7551
仙台営業所	〒984-0042	宮城県仙台市若林区大和町1丁目22-45	TEL	022-239-1688
郡山出張所	〒963-0107	福島県郡山市安積町2丁目341-1	TEL	024-945-8678
盛岡営業所	〒020-0122	岩手県盛岡市みたけ4丁目3-5	TEL	019-641-3416
東京営業所	〒134-0083	東京都江戸川区中葛西6丁目17-8	TEL	03-3687-5771
千葉事務所	〒264-0025	千葉市若葉区都賀3丁目19-1	TEL	043-214-0260
多摩出張所	〒192-0043	東京都八王子市暁町2丁目6-3	TEL	0426-20-5590
横浜事務所	〒222-0025	神奈川県横浜市港北区篠原西町34-33	TEL	045-431-7786
厚木事務所	〒243-0014	神奈川県厚木市旭町5丁目47-18	TEL	046-228-2243
静岡出張所	〒422-8046	静岡市中島2834-1	TEL	054-282-7012
大宮営業所	〒330-0031	埼玉県さいたま市吉野町1丁目19-4	TEL	048-666-2521
宇都宮出張所	〒321-0912	栃木県宇都宮市石井町3149-28	TEL	028-656-8737
土浦事務所	〒300-0815	茨城県土浦市中高津1丁目12-48	TEL	0298-24-5212
前橋出張所	〒371-0037	群馬県前橋市上小出町2丁目46-3	TEL	027-234-5956
長野出張所	〒381-0043	長野市吉田5丁目24-16	TEL	026-244-3970
松本事務所	〒399-0025	長野県松本市寿台9丁目4-16	TEL	0263-85-5446
新潟出張所	〒950-0892	新潟市寺山3丁目32-12	TEL	025-275-5616
名古屋営業所	〒454-0826	愛知県名古屋市中川区小本本町1-75	TEL	052-362-2281
浜松事務所	〒435-0053	静岡県浜松市上新屋町231-6	TEL	053-467-0394
津出張所	〒514-0823	三重県津市大字半田池町590-5	TEL	059-227-2716
岐阜出張所	〒500-8367	岐阜市宇佐南4丁目2-4	TEL	058-271-4015
金沢出張所	〒920-0016	石川県金沢市諸江町中丁344	TEL	076-237-1230
大阪営業所	〒556-0022	大阪市浪速区桜川4丁目11-20	TEL	06-6561-8484
和歌山事務所	〒640-8482	和歌山市六十谷1234-7	TEL	073-462-7277
京都出張所	〒601-8304	京都市南区吉祥院前河原町1	TEL	075-321-0141
姫路出張所	〒670-0061	兵庫県姫路市西今宿5丁目5-4	TEL	0792-98-1250
松山出張所	〒791-8016	愛媛県松山市久万ノ台223	TEL	089-922-8886
高松営業所	〒761-0101	香川県高松市春日町片田1638-7	TEL	087-843-1201
徳島事務所	〒770-0942	徳島市昭和町6丁目76-105	TEL	088-622-8183
広島営業所	〒731-3167	広島市安佐南区大塚西6丁目2-11	TEL	082-849-2400
防府事務所	〒747-0031	山口県防府市迫戸町5丁目25	TEL	0835-27-0575
岡山出張所	〒700-0965	岡山市西長瀬261-104	TEL	086-241-3013
福岡営業所	〒812-0006	福岡市博多区上牟田3丁目5-22	TEL	092-411-9801
小倉出張所	〒803-0826	福岡県北九州市小倉北区高峰町10-8	TEL	093-561-3422
諫早出張所	〒854-0062	長崎県諫早市小船越町1021-3	TEL	0957-23-3341
大分出張所	〒870-0155	大分市高城南町7-13	TEL	097-552-1745
熊本出張所	〒862-0910	熊本市健軍本町7-17	TEL	096-365-0484
宮崎出張所	〒880-0022	宮崎市大橋3丁目134-2	TEL	0985-23-2126
鹿児島営業所	〒890-0073	鹿児島市宇宿2丁目23-18	TEL	099-257-6801

020415